

公益社団法人 日本植物学会  
第 84 回大会（名古屋）  
趣意書

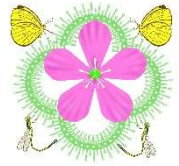
日本植物学会会長： 三村 徹郎  
（神戸大学大学院理学研究科 教授）

大会会長： 長谷部 光泰  
（自然科学研究機構基礎生物学研究所 教授）

大会実行委員長： 東山 哲也  
（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授）

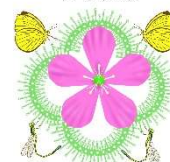
会期： 2020 年 9 月 19 日（土）～21 日（祝）

会場： 名古屋大学（東山キャンパス）



## 開催概要

1. 学会の名称： 公益社団法人 日本植物学会
2. 主催機関及び責任者名： 公益社団法人 日本植物学会  
会長 三村徹郎  
第84回大会 大会実行委員会  
大会会長 長谷部光泰
3. 共催： 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所  
名古屋大学大学院理学研究科  
名古屋大学大学院生命農学研究科
4. 会期： 2020年9月19日(土曜日) ～ 9月21日(敬老の日)
5. 開催地： 名古屋大学 東山キャンパス (全学教育棟および豊田講堂)  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町1  
Tel: 052-747-6404 Fax: 052-747-6405
6. 大会の目的と開催意義：  
植物科学の推進と普及を目的として開催します。植物科学は、人類に身近であり、環境保全や食糧生産にも重要な存在である植物について、理解を深める研究分野です。日本植物学会は、植物科学の「総合学会」として、幅広い研究材料を対象とし、植物科学に関わる幅広い分野からの参加者が集う学会であることが特徴です。約1000名の登録参加者を見込み、広く植物科学に関する知見や情報を共有できます。特にこの名古屋大会では、植物科学が深くかかわる7つの新学術領域研究が、本名古屋大会で一堂に会し、最新の知識や情報を共有します。また、植物科学の盛んな中部地区で、名古屋大学および基礎生物学研究所が一体となって運営にあたるため、活発な大会となることが期待されます。企業や諸団体にも積極的に参加して頂き、新たな情報や技術の共有、ネットワーキングに努めます。また公益財団法人である日本植物学会は、大会を通じて、社会への植物科学の普及をはかります。名古屋大会においては、高校生に積極的に参加してもらい(160名を見込む)、植物科学の楽しさや大切さを実感してもらいます。大会全体を通じて、デジタルポスター発表など、新しい大会の在り方にも挑戦します。名古屋大会の開催意義は、こうした活発な取り組みを通じて、参加者の皆さまに植物科学に関わる有用な知識、情報、技術、ネットワークを共有して頂き、参加する楽しさとメリットを感じて頂くことです。



## 7. 開催計画の概要:

## 1) 学会の日程表(予定)

9月18日(金)

時間帯	主な内容	会場
午前	設営	全学教育棟本館
午後	設営、各種委員会	全学教育棟本館

9月19日(土) &lt;第一日目&gt;

時間帯	主な内容	会場
午前	口頭発表、シンポジウム	全学教育棟本館
昼	ランチョンセミナー	全学教育棟本館
午後	口頭発表、シンポジウム、	全学教育棟本館
夜	ミキサー、関連集会	全学教育棟本館

9月20日(日) &lt;第二日目&gt;

時間帯	主な内容	会場
午前	口頭発表、シンポジウム	全学教育棟本館
昼	ランチョンセミナー、各種委員会	全学教育棟本館
午後①	ポスター発表	全学教育棟本館
午後②	授賞式・受賞講演・会員の集い	豊田講堂
夜	懇親会	南部食堂 (全学教育棟横)

9月21日(祝) &lt;第三日目&gt;

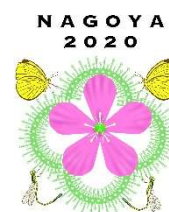
時間帯	主な内容	会場
午前①	口頭発表、シンポジウム	全学教育棟本館
午前②	ポスター発表、高校生ポスター発表	全学教育棟本館
昼	ランチョンセミナー	全学教育棟本館
午後	高校生ポスター発表表彰式、公開講座、 撤収、各種委員会	全学教育棟本館

2) 演題予定数: 【シンポジウム】 12企画

【口頭発表】 約 300 題

【ポスター発表】 約 300 題(高校生ポスター約 40 題を含む)

3) 参加予定数: 1200 名(高校生、学部学生、公開講座参加者を含む)



## 8. 大会実行委員会名簿(\*印は代表)

**大会会長:** 長谷部光泰(基礎生物学研究所)

**実行委員長:** 東山哲也(名古屋大学)

### 実行委員

**総務:** 芦苺基行(名古屋大学)

**会計担当:** 上田貴志(基礎生物学研究所)

**プログラム担当:** \*打田直行(名古屋大学)、植田美那子(名古屋大学)、榊原均(名古屋大学)

**シンポジウム担当:** \*川口正代司(基礎生物学研究所)、石川雅樹(基礎生物学研究所)

**プログラム編成担当:** \*打田直行(名古屋大学)、井上晋一郎(名古屋大学)、植田美那子(名古屋大学)、海老根一生(基礎生物学研究所)、金岡雅浩(名古屋大学)、小島晶子(中部大学)、榊原均(名古屋大学)、佐藤良勝(名古屋大学)、四方明格(基礎生物学研究所)、篠原秀文(名古屋大学)、征矢野敬(基礎生物学研究所)、武内秀憲(名古屋大学)、多田安臣(名古屋大学)、田畑亮(名古屋大学)、土屋雄一郎(名古屋大学)、西田佐知子(名古屋大学)、野田口理孝(名古屋大学)、野元美佳(名古屋大学)、長谷部光泰(基礎生物学研究所)、藤田浩徳(基礎生物学研究所)、増田理子(名古屋工業大学)、皆川純(基礎生物学研究所)、吉岡泰(名古屋大学)、渡邊幹男(愛知教育大学)

**公開講座・高校生企画担当:** \*森田(寺尾)美代(基礎生物学研究所)、石黒澄衛(名古屋大学)、渡邊幹男(愛知教育大学)

**懇親会担当:** 松林嘉克(名古屋大学)

**ミキサー担当:** \*多田安臣(名古屋大学)、四方明格(基礎生物学研究所)

**企業展示担当:** \*皆川純(基礎生物学研究所)、木下俊則(名古屋大学)

**ランチョンセミナー担当:** \*野元美佳(名古屋大学)、土屋雄一郎(名古屋大学)

**会場担当:** \*高橋宏二(名古屋大学)、吉岡泰(名古屋大学)、武内秀憲(名古屋大学)

**託児室担当:** \*佐々木成江(名古屋大学)、栗原大輔(名古屋大学)、大井崇生(名古屋大学)

**ホームページ担当:** \*壁谷幸子(基礎生物学研究所)、真野弘明(基礎生物学研究所)、金澤建彦(基礎生物学研究所)

**要旨集担当:** 西村岳志(基礎生物学研究所)

**関連集会担当:** 水多陽子(名古屋大学)



9. 必要経費概算書(予算案)

1) 収入

参加費収入: 5,500,000 円

【事前登録】一般会員 8,000 円×350 名、非会員 9,000 円×60 名、  
学生会員 4,000 円×300 名

【当日登録】一般会員 9,000 円×60 名、非会員 10,000 円×10 名、  
学生会員 5,000 円×50 名

広告・展示収入: 3,400,000 円

寄付金収入: 30,000 円

---

計 8,930,000 円

2) 支出

会議費支出: 959,750 円

通信運搬費支出: 1,331,550 円

消耗品支出: 1,383,983 円

印刷製本費支出: 1,473,615 円

委託費: 3,451,102 円

雑支出: 330,000 円

---

計 8,930,000 円